



平成22年11月11日

各位

会社名 株式会社協和日成
 代表者の役職名 代表取締役社長
 北村 眞 隆
 問い合わせ先 取締役経理部長
 佐々木 秀一
 (JASDAQ・コード番号1981)
 TEL 03-3464-0121

第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成22年5月20日に公表いたしました平成23年3月期第2四半期累計期間の業績予想と、本日公表の実績値について差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成23年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異（平成22年4月1日～平成22年9月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A） （平成22年5月20日公表）	12,640	52	90	53	4円60銭
今回実績（B）	13,870	100	199	66	5円80銭
増減額（B－A）	1,230	48	109	13	—
増減率（%）	9.7	92.3	121.1	24.5	—
（ご参考）前期実績 （平成22年3月期第2四半期）	13,329	△22	△4	3	0円35銭

2. 平成23年3月期第2四半期累計期間の個別業績予想と実績値との差異（平成22年4月1日～平成22年9月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A） （平成22年5月20日公表）	11,600	49	85	48	4円17銭
今回実績（B）	12,779	182	255	86	7円53銭
増減額（B－A）	1,179	133	170	38	—
増減率（%）	10.2	271.4	200.0	79.2	—
（ご参考）前期実績 （平成22年3月期第2四半期）	12,195	△16	14	42	3円68銭

3. 差異の理由

(1) 連結業績

第2四半期連結累計期間の業績予想数値と実績値との差異につきましては、主に個別業績の差異によるものであります。

(2) 個別業績

当第2四半期累計期間の業績につきましては、景気の緩やかな回復に伴い、ガス設備新設工事および空調工事が好調だったことに加え、東京電力株式会社の設備投資計画による受注も堅調に推移した結果、売上高につきましては、平成22年5月20日に公表した予想数値(以下、「前回予想」)の売上高11,600百万円に対して1,179百万円増加し、12,779百万円となりました。利益面につきましては、売上高の増加に伴う利益増に加え、退職給付制度の改定による費用の減少等により、営業利益は前回予想49百万円に対して133百万円増加し、182百万円、経常利益は前回予想85百万円に対して170百万円増加し、255百万円となりました。しかしながら、四半期純利益につきましては退職給付制度改定損62百万円、資産除去債務に関する会計基準の適用に伴い23百万円を特別損失に計上したことにより、前回予想48百万円に対して38百万円増加し、86百万円となりました。

4. 通期業績予想

通期業績予想につきましては、建設業界の動向等、今後の景気見通しは引き続き予断を許さない状況にあるため、現時点では平成22年5月20日に公表した予想数値を据え置くことといたします。